

# 月刊ベトナム株情報

Vol.10

ユナイテッドワールド・リサーチ



## 先月のベトナム市場 経済情勢

## 1~2月の相場展望 企業情報

### <先月の市場> 続落し900ポイントに接近

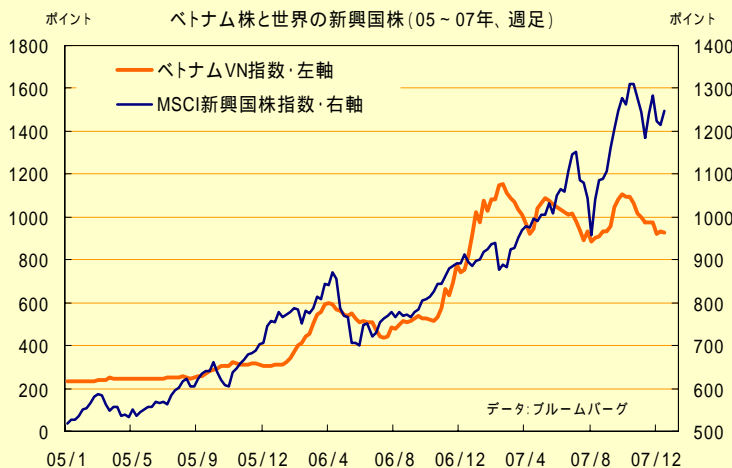
ベトナムVN指数は11月の-8.7%に続いて12月も-4.7%と低調だった。この間、MSCI(モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル)新興国株指数は+0.3%と横ばいだった。

VN指数は直近高値の1106ポイントから12月末には927ポイントまで16.2%の下落をみせ、07年5月、あるいは8月のように900ポイントレベルで下げ止まるか、重要な局面に達しつつある。

ベトナムでは今年1月から、個人のキャピタルゲインに対して20%の課税されることが決まったこと、ここにきてインフレ懸念が高まっていること(次項参照)にも市場には警戒感。市場では金融引き締め懸念が強まっている。

さらに、特殊事情としては12月27日にベトナム外商銀行(ベトコムバンク)が国有銀行初のIPOを実施した影響も。IPOでは10.5兆ドン(約720億円)が調達され、その分、市場の需給関係が悪化した面がある。

12月はホーチミン市場上場銘柄のうち、値下がりしが116銘柄あった一方、値上がりしがファースト火力発電所など15銘柄にとどまった。ファーストはピナミルク(08年春予定)に続いてシンガポール証券取引所に上場予定と報道された。



### ベトナム市場の動き

2008年1月4日

	直近	1ヶ月前比・%	年初来・%
VN指数*1	903.1	-8.7	-2.6
ホーチミン売買代金(億ドン)	4,160	+168.7	+105.0
ハノイ証券取引所株価指数*2	310.5	-11.2	-24.1
ハノイ売買代金(億ドン)	1,307	-74.6	-62.2
為替:ドン 683.983 円/億ドン			

\*1ベトナムのホーチミン証券取引所上場の全銘柄からなる時価総額加重平均指数。2000年7月28日を基準日とし、その日の時価総額を100として算出。現在、138社が上場。\*2ハノイ証券取引所に上場する企業113銘柄からなる時価総額加重平均指数で07年2月1日より算出。(データ)ブルームバーグ

### <1~2月の相場展望> テト相場に期待も

12月の相場下落の原因のうち、IPOに伴う株式需給の悪化については1月は改善に向かう。懸念されるのはインフレ動向だが、足元の経済は好調を持続しており、景気への影響はまだあまりみられない。12月の輸出は前年比+21.5%と前月の+20.0%を上回り、小売り売上高も+23.3%と前月の+22.9%から加速した。

また、ベトコムバンクのIPOには海外企業が大きな興味を示し、改めてベトナム市場が評価されていることが明らかとなった。

市場心理的にはVN指数が再び900ポイント前後で下げ止まれば、再び上値期待も広がる。また、歴史の短い市場だが、ここ2年ほどは旧正月(ベトナムではテト)の前は新年への期待から強気相場が展開される傾向がある。1月から2月にかけて堅調な相場展開となる公算も。

今年のテトは2月7日で、取引所は2月6日から休場となる(再開は2月11日)。

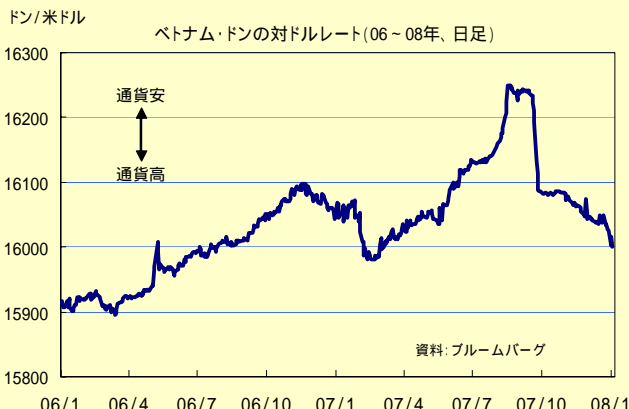
### ベトナム市場、2007年の重大ニュース

- ・07年1月、証券法制定。
  - ・外国人口座数3倍増
- 07年末で516の機関投資家を含めて8,683の外国人口座が開設された。投資額は76億ドル(約8700億円)相当と推定される。(ベトナム経済時報)
- ・時価総額が07年GDPの43.7%(500兆ドン)。
  - ・ベトコムバンクとバオベト保険の大型IPO実施。
  - ・一般市民にも株式ブーム。
  - ・ホーチミン市証券取引センターがホーチミン市株式取引所に改組。
  - ・VN指数の年間上昇率は23%と前年の144%から大きく鈍化。しかし、4年連続の上昇。

**< 経済情勢 >**

ここにきてインフレが深刻化している。11月の消費者物価が+10.0%と3年ぶりの高水準となったが、同国統計局は12月25日、12月の消費者物価は+12.6%と発表。95年以来の高水準となった。前月比でも+2.9%と上昇。食品と建設資材の値上がりがかつ、一般市民へのしわ寄せが来ている。

政府はインフレ対策のために通貨ドンの許容変動幅を拡大、輸入関税を引き下げ、コメなどの輸出関税を引き上げているが、効果が見られない。



< ベトナム >	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2005年	2006年
鉱工業生産	+17.0%	+17.1%	+17.1%	+17.0%	+17.4%	+20.7%	+16.6%	+22.3%
輸出	+19.6%	+19.3%	+18.3%	+19.3%	+21.0%	+21.5%	+22.4%	+22.1%
輸入	+31.3%	+30.9%	+30.2%	+30.5%	+34.9%	+35.5%	+15.7%	+19.9%
消費者物価	+8.4%	+8.6%	+8.8%	+9.3%	+10.0%	+12.6%	+8.3%	+7.6%

< 資料 > 各国経済統計局、ブルームバーグ、各データは前年比。

**< 企業情報 > ベトコムバンク**

12月27日にベトナム外商銀行(ベトコムバンク)が国有銀行初のIPOを実施。発行株数の6.5%、9750万株を政府が放出。入札形式による平均売却価格は最低公募価格(1株当たり10万ドン)を上回る同10万7860ドンとなり合計、10.5兆ドン(約750億円)が調達された。このIPO株は機関投資家183社のほか、一般投資家8,609人が取得した。外資がIPOの30%を取得したとの報道も。

VN指数構成上位10銘柄の株価パフォーマンス

2008年1月4日

社名	業種	指数での ウェイト(%)	直近値 (ドン)	1ヶ月騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)
サコムバンク	銀行	8.00	64,000	-8.6	-2.3
ベトナム乳業	食品	7.98	162,000	-6.4	-
ベトナム化学肥	化学	7.68	72,000	-9.4	-2.7
サイゴン証券	IT	5.56	165,000	-8.3	-1.8
FPTコーポレーション	証券	5.47	212,000	-10.2	-4.9
ファーライ火力発電	電力	5.30	58,000	-2.5	-
ベトナムドリリング	石油	4.61	149,000	-4.5	-2.0
ホアファットグループ	製造	3.60	97,000	-	-
ピンコム	不動産	3.42	152,000	-5.0	-
タンタオ工業団地	不動産	2.79	124,000	-4.6	-1.6

資料:ブルームバーグ

この資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたものであり、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資対象となる有価証券の価値や投資から得られる収入は、証券価格の変動のほか、発行体の経営・財務状況の変化、金利や為替相場の変動やその他の要因によって変化する可能性があります。投資額を下回る場合があります。また過去の実績は必ずしも将来の成果を示唆するものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。

本資料は、ユナイテッドワールド証券が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されたものですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記された意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。

本資料はユナイテッドワールド証券の著作物であり、事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送などにより使用することを禁じます。